

74新破天荒



令和四年度より
創刊
第26号

二期期終了
良いお年を(次は龍)

早いものです。74回生の2学年も、残すところあと一学期。今、皆さんの心にはどんな思いが渦を巻いているでしょう。

世間は、クリスマススイブであるとか、メリークリスマス、はたまた「もういくつ寝ると」と言う声が響き渡っています。

世の流れを知ること、勿論大切です。その流れに「乗る」、流れに「逆らう」行動を実行する必要性は絶対にあります。

ただ、利他的に「目の前」が楽しければそれでも良い時期でなくなっていることや、苦しいことから逃れられない時期に近付いていることも理解した上で、新年を迎え、大きな学校・学年行事である修学旅行を迎え、堪能し、乗り切って欲しいものです。

多くの人は、来年の今頃は「己の本気で目指す」進路に、勝負を挑んでいるはず。逆算をすればそこまで一年。

さあ、どんな流れに乗るイメージで走り出し始めますか。

一番怖い
思ひ込み

皆さんは

「()が」

と

「()しか」

の違いは分かりますか？

「ここが」良いという考えからスタートした人にとつては、「他」と比較した事実があり、「他」との情報も持ちつつ自分の目指す道を進めていくので、その進み方には余裕もあれば、修正も利かせながら、これからの動きを生み出していきます。

一方、「ここしか」ない、行かないという考えからスタートした人には、「今」が絶対で、進むべき道はこの道しか許さない、どうにかしなければ、という強い思いが勝り過ぎて、行き詰まってくると、「息苦しさ」や「捨てる」ことでの決着を図りがちです。自分の決めた道に「ぶれる」ことは許さないのはとても立派なことですが、それによって自分にとっては本当に「最良」なのかな？

「生きていくこと」、「働くこと」は、自分が進みたかった職業でさえ、ほとんどが辛いものです。

「今」を自分の「すべて」にしてしまうことが、一生の自分の「最良」かどうか。

客観的な目で、この機会に「自分」を見つめてみませんか？「意外な」自分を発見できる機会になると思いますよ。

「思い」

は大切にしましょう。ただ、

「決めつけ」

にならぬよう、

「自分の可能性」

への想いを、一番大切にしてください。

それ以上に

進研模試（11月）の結果が返ってきました。模試はあくまでも今の課題を知り、その強化を積み重ねる為の練習試合です。74回生においては試合はこなしているのですが、残念ながら自らの課題にはまだまだ目を背けてしまっているようです。

74回生の全体像としては、全国平均を挟んでの中間層が非常に多く、自分の掲げる進路実現を「叶える」側にも「及ばない側」にもなるゾーンの生徒が最初から多く、一年半経った今もさらにその状況が変わらないのが実情です。

ただ、受験時期はひしひしと近付いてきています。高校入試のような感覚では、埋めるべき課題の量が一年では間に合いません。

分かっている、なかなか変えることができない高校生の日常です。寂しい話ですが、こんな時には自分のこれまでの経験を覆して行くことは、ごく僅かな特殊な事例のみです。

学年主任としては、やはり最後の結果は覚悟する必要度が増してきているタイミングであることも、ご理解頂ければと思います。

生徒の皆さん、すべては自分の未来のためです。自分の「夢」、「目標」を手に入れることができなくなるデッドラインを超えることがないように、覚悟をもって「自分が決めた小さな積み重ね」を始めて下さい。お願いします。

芸術鑑賞会

感想文紹介

十一月十七日金曜日、本校、網干高校、家島高校の三校合同で、令和五年度芸術鑑賞会が、アクリエ姫路にて実施されました。本年度は、演劇「地雷探知犬ニーナ」を鑑賞しました。

メインフロアが生徒で満杯になる様は、演じる側にとっても、やり甲斐が大きかったのでは。時期は少し遅くなりましたが、74回生の感想を数点掲載させていただきます。

光一つない暗闇。会場が動揺に包まれる中、灯る一枚の地球の遠写。紫紅の光と共に響き渡る声：、「地雷」を主軸に人間の強さや優しさ、残酷さが、圧倒的な演技力と共にコメディックに時折生々しく表現されており、心の奥深くにある柔い部分を抉るような作品でした。

カンボジアだけでなく、多くの世界でいまだ残り続けている地雷。平穏な日々を取り戻す為、命がけで地雷撤去に取り組むボランティアの人、地雷探知犬の存在。多くの罪のない人間が地雷の被害に遭っている現実。

人間はもちろん、その他人間以外の生物にも、その生物なりの人生が、未来や希望があるはず。それらを一瞬にして奪っていく地雷。無慈悲で残忍なこの兵器は、紛れもない私たち人間という生物が作り出してしまったものだ…。
楽しさと共に改めて気付きを届けてくれた素敵な演劇舞台でした。

井口 実優(3組)

「地雷探知犬ニーナ」を見て思ったことは、日々の日常を平和に暮らしているということは、当たり前ではないということ。僕たちが平和に暮らしている一方で、他の国では地雷や戦争でたくさんの方々が亡くなっている。悲しい気持ちになったし、昔戦争で使っていた地雷が今もあるということを驚くと同時に、そんな国では怯えながら暮らさないといけない人がいるのは恐ろしいと思いました。

そんな国でボランティアとして協力している人達は本当にすごいと思います。自分だったら、まずそんな怖いところに援助に行きたいとも思うことができないはず。もし行けたとしても、役に立てる自信がありません。

でも、今日の劇で「このことについて考えるだけでも役に立っている」という言葉を聞いて、とても嬉しかったです。今回の芸術鑑賞会で、さまざまなことを学ぶことができて良かったです。

小笠原 煌大(5組)



私は「地雷探知犬ニーナ」を鑑賞して、戦争の怖さを改めて知りました。地雷は普通の爆弾とは違い、どこにあるかも分からないし、戦争が終わっても、恐怖はずっと続くのだとも怖いなと思いました。私は「地雷探知犬」という犬がいることは全く知りませんでした。鑑賞会に出てきた犬「リッキー」は、自分を犠牲にしても人間を守っていて、とても感動しました。どんな人も動物も、戦争をすることで、無差別に殺されてしまうんだなと思いました。

日本は、今は戦争がなく、幸せで安全な国だけど、他の国では戦争が起こっていると思うと悲しいです。ウクライナとロシアの戦争をニュースで見たときは、残酷すぎて驚きました。早く戦争が終わってほしいし、この先世界から「戦争」というものがなくなればいいなと思いました。

小林 彩華(4組)

今回この劇を観て、たくさん考えさせられることがありました。まず、私たちがこうして平和に暮らしている間にも、数え切れないほどの人が、様々な場所で地雷と闘っているということ。私たちがなんとも思わずに移動する距離を、とある国では命がけで移動しなければならぬことにショックを受けました。

そして、地雷の特徴です。無差別に関係のない人までも傷つけ、踏まれず残ったものは、誰かを傷つけるまで何十年も、土の下で待ち続けるのです。殺すことなく苦しめる。事の重大さに気付いてももう遅く、どこに埋めたか分からないという始末。何て最低最悪で滑稽なんだろうと、もう言葉も出ませんでした。

今の私たちにできるのは、少しでも犠牲者が減るように祈り、小さなことであっても人々を助けられる支援を手助けすることだと、私は思いました。

中田 安佳音(2組)



怖いことからは目を背ける、私はいつもそうしてしまいます。「地雷」と聞いただけで恐ろしい光景が頭をよぎり、向き合えない自分がいました。しかし、今日の劇を通して「知る」ことが大切だと思いました。同じアジアでも、死と隣り合わせの日々が続いていると考えると、すごく胸が痛かったです。無差別に、非人道的に尊い生き物の命を奪う地雷、人間。私は、怒りを覚えずにはいらませんでした。しかしその怒りは同時に自分自身にも感じました。こんなにも残酷な事態が今も繰り返されていることや、現実にも目をやるうとせず、「怖い」だけで済ませていたからです。

私は家に帰って、家族に劇の内容を伝えました。私が直接できることはないかもしれませんが、知ること、伝えることで、命や平和の大切さを改めて考え直すことができます。

この感動や怒り、悲しみを忘れず、理解を広めていきたいです。

古川 萌花(1組)

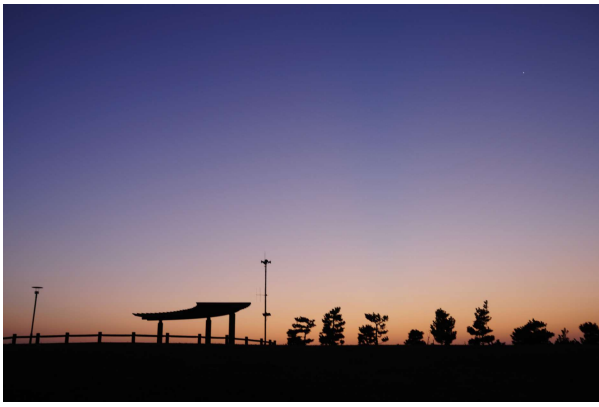
私は、地雷について今までたくさん学校で学んできたつもりでしたが、劇の後、以前はそこまで理解しきっていなかったのだなとようやく気付きました。

そして何より、演劇の本質の素晴らしさを感じる事ができました。ただ観て、聴いて楽しむだけでなく、世界で起こっている問題の現状を劇で感じる事によって、より正確に、そして、現地での緊迫感や陰悪感を味わうことができるのだと思います、感動しました。ただでさえ、劇中に驚いたり震えたりしていたのに、現地では、このようなことが日常茶飯であると思うと、より恐怖が込み上げてきます。

そんな中、私が特に印象に残ったのは、「地球に謝らなきゃな」という台詞です。美しい夕日の下に、たくさん地雷が埋まっているという、許されざる事実。

「何か私にもできることはないのか」を、考えるべきだと思いました。

八十 明咲(5組)



今回「地雷探知犬ニーナ」を鑑賞して、私はとても多くのことを学びました。

今まで、平和学習として、日本に投下された原子爆弾の恐ろしさや被害の大きさを見たり聞いたりすることはあつたけれど、地雷に関して考えたりすることは、あまりありませんでした。

私たちが普通に暮らしている今でも、まだまだ多くの地雷が埋まっている国が多くあること。地雷原だと分かりながらも、生活のためにそこに入っていかなければならないこと。大切な人が亡くなってしまっても、悲しんでいる暇すらないこと。そんな現実があるのだということを知って、すごく苦しい気持ちになりました。

戦争もまた、そのために作られて使われた地雷や原子爆弾も、恐ろしく残酷で許されないことなのだと、改めて学ぶことができました。地雷に苦しむ人が一人でも減ることを願っています。

准田 心菜(1組)



岡山大学訪問

2学期期末考査終了の二日後の十二月八日金曜日、1・2年生の希望者で岡山大学訪問を実施しました。

参加者の感想の中から、幾つかキーワードを紹介させていただきます。

- ・ 将来が決まらず、焦った上での今回の参加
- ・ 改めて、自分の進路を見つめ直すきっかけ
- ・ 大学入試全般の共通テスト関連の情報共有
- ・ 大学院でさえも、まだまだ学びの途上
- ・ 行って知る空気
- ・ 受験科目としてだけでない「英語」の重要性
- ・ 学びたいものが絶対に見つかる大学
- ・ ようやく訪問できた経済学部
- ・ 自分の目で見てこそ訴えられるもの
- ・ 知ることを深めること、知らぬことを知ること
- ・ 経済と経営 似て非なるもの
- ・ 興味関心の大切さ
- ・ 「行きたい」と「行くために」の違い
- ・ 圧倒的なキャンパスの広さ
- ・ 昼間コースと夜間コースの違いのなさ
- ・ 数多くの資格取得のチャンス

などなど。熱い想いを行動に繋げてほしいという本音と、行きたいと思つて簡単に行ける場所ではない「現実」を知ってもらえたら、と思います。「行けない」舞台ではないが、「行くための」努力を始める、続ける、諦めないことができるか。応援していきたいのですが……。

一月の予定

四 日(木)	仕事始め
八 日(月)	成人の日(祝日)
九 日(火)	始業式 服装指導
十 日(水)	課題考査(時間割は追って連絡)
十一 日(木)	課題考査 および 授業
十三・十四日(土・日)	進路希望調査
十六日(火)	修学旅行前健康相談
十七日(水)	共通テスト(来年は君達だ！) 教育相談
十九日(金)	阪神淡路大震災追悼行事
二十日(土)	修学旅行荷物発送(朝)
二十二日(月)	全国総合学力テスト
二十三日(火)～二十六日(金)	進研記述模試(午前中) 修学旅行結団式
三十日(火)	修学旅行 教育相談

散歩道74
 クラスコード 51uczkw
 Start 23 → 2022 last 36
 2023 start 38 → Now 52
 2ndGrade start 52
 → Now 57

人権教育講演会

十二月十二日火曜日に催された人権教育講演会で、教師冥利に尽きる、あつと驚くことが起こりました。講師でお話し頂いた、N I T 情報技術推進ネットワーク株式会社の筒崎真美様が体育館を退出される際に、二人顔を見合わせて一言、

「何してるん、こんな所で」

数えてみれば、何と二十二年ぶりの再会となる卒業生でした。

教師として感謝、自慢できることを経験できる、そんな自分を、こんな歳になって感じさせてもらえるから、目の前の皆さんには説教臭く言ってしまうのでしょね。

教頭先生からは、「どえらく指導された(恐ろしくよく怒られた(笑))と言う言葉を残していかけたよ」とお聞きしました。

それでも、今日の前の生徒への想いをさらに返信してくれたことを思えば、昔の話は

「むかしむかしの笑い話」で済ませて良いですね。今投げている石の波紋は、生徒の皆さん自身で

広がる 留まる 消える 消す

もので、所詮われわれ教師は、(少なくとも私は)

想いを伝え続ける

ことに価値があると考え直させられた出来事でした。

SNSはとても便利なものだし、今の私達の生活には欠かせないものになってきていてけれど、使い方を間違えると、犯罪に巻き込まれる危険性があることを知りました。

中学校の時にもSNSの使い方についての講演を聞いたけれど、どのアプリにどんな危険があるのかということまでは知らなかったので、今まで何気なく使っていたアプリも気をつけて使うようにしたいなと思いました。

ウイルスや乗っ取り以外にも直接人の手で危害を加えられる事もあるのだということを知ったので、特に位置情報の開示はしないように気をつけたいいけないと感じました。

身近なアプリだからこそ、危険について考えていけないといけないと思いました。

(二組 梶原つかさ)

自分達が普段使っているスマートフォンには、ほとんどのアプリが個人情報提示していて、盗まれる可能性があることが改めて分かりました。

自分の安易な気持ちで将来が危ぶまれるので、スマホの使用をやめることは難しいですが、不必要にログインをしないように気をつけようと思います。

顔出しは絶対にしないように気をつけようと思います。位置情報アプリは、実際に事件にも繋がってしまっているのが、極力入れないようにしたいと思います。トラブルが起きた場合はまず「深呼吸」。心がけたいと思います。

スマホは、誰もが手軽に持っていて、誰かが被害に遭っても「自分は大丈夫だろう」という意識が、警察トラブルに繋がるので、常に「何かあるかもしれない」という意識付けができるようにします。

後は、公共の場で常識のある行動を徹底していきたいと思います。

(三組 大橋 萌花)

今回の講演会を通して、ネットの便利さとともにその危険性をも伴っていることを改めて知りました。自分の端末上でネットにアップした写真を消去してもネットには残り続ける、簡単に情報を取り消すことはできないという点が、やはり一番怖いところかなと思います。

たまにSNSを見てみると、女子高生が学校の教室で教師と踊っている動画を目にしますが、これってセーフなのか?と思っていたところアウトだったので。知識って本当に大切だなと思いました。

また街中の映像でも、踊っている動画の中に通行人がモザイクなしに映り込んでいたりして、自分の知らないところで、勝手にネット上に自分の顔があげられていると思うと恐ろしいです。

SNSはきちんと常識を身につけた人に利用してほしいし、私自身も、自分の身は自分で守ることができるよう、SNSの扱いにはより気をつけます。

(五組 三木穂乃果)

今日の講演はタメになる話ばかりでした。

すぐ身近なアプリでも、使い方を間違えると人権問題に発展したり、警察を巻き込むぐらいの大きな問題になったりすることが分かりました。

特に、位置情報アプリは事件に繋がることがあるので、気をつけようと思いました。今日学んだことを、家族や友達にも伝えようと思えます。

正しい使い方をすると楽しいアプリばかりなので、今後も使い方には気をつけたいです。中学生や高校生が事件に巻き込まれることが多いので、他人事と考えずに、身近な危険ということを覚えておきたいと思いました。

今日の話を、今後の生活に生かしていきたいです。

(二組 竹田 夕綺)

人権と聞くと「LGBTQ」や「障がい者」などを想像していましたが、SNSという身近なことも人権に含まれることを聞いて、とても驚きました。

TikTokやInstagram、Lineなどは、アカウントを持つている人(ユーザ)も多いし、私もよく使っていますが、友達は顔出しをしてTikTokを撮っていたり、Instagramに投稿しているのを見ているのが普通だったり、当たり前だったので、それが海外で悪用されたり、勝手に無断転載してしまうのが、とても怖いと感じました。

私は、LINEの友達を自動で追加できるようにしていたり、アプリの位置情報を「常に許可」にしていたり、セキュリティを自分自身でガバガバ(?)にしていたので、無意識の間に、知らない人に情報を共有していると考たらぞつとするし、Zenilyが停止になった理由や、事件の内容を聞いて改めてぞつとしました。

どれだけ遠い人でも、SNSという小さいものでたくさんの人と繋がることができて、良い方向にもいくけれど、悪い方向に行く事例もあるということ。忘れずに、セキュリティをしっかりして正しく使うことを心がけたいと思いました。

(四組 三木 羽桜)

諦めの悪さ ホワイトボードの輝き

二〇二三年も終わりに近付いています。皆さんはどんな変化のあった一年だったでしょう。期末考査とともにあったこの一ヶ月間も含めて、二〇二三年の振り返りをお願いします。

11月29日(水)

追い詰められて 本当に後がないところで
覚悟するより 一つ二つでも 余裕があれば
自分には大きな勇気になる

11月30日(木)

本当の自分の探し物のために泥まみれになり
闘うことの格好良さを知ろう
「やれるのに」と思い 想われることが
一番格好が悪い

12月1日(金)

2023年最後の一ヶ月 本気でスタートを
切る覚悟を
言われたらよくできる 言わねば「自分」が
消えている 本当の自分を大切に

12月4日(月)

意義のある2日間にできましたか？
努力 即 結果にはならない
積み重ね 継続 辛抱 さあ折り返し

12月5日(火)

感情の有無は大切に 行動には「落とし所」を
しっかり見つけて道を歩こう
すべての道を同時に歩ける訳ではない

12月6日(水)

まずは一つの達成感を そして欲を
そうすれば 今極めたい課題が見えて
己の成長へとつながる

12月7日(木)

権利と責任 前にも書きましたが
権利を得るには信頼が必要で そのために
一番大切なのは 自分の責任を果たすこと
でなければ 主張はただのわがままである

12月8日(金)

社会において 主張の違いは当たり前
大切なのは 建設的に主張し 自分の意に
反しても 決まれば実行する
そんな社会であってほしい

12月11日(月)

幸せな(平凡な)日々であるのに 無理に一本
取って 辛い姿でいることもまた大変だ
その先の幸せのために
一本失わないようにしませんか？

12月12日(火)

欲を持たねば動けない 変化がなければ考えない
考えなくても悩むものです
悩んでもがく 若さの特権です

12月13日(水)

今していることの正否が出るのは先になってから
ただその先は こちらが決められるものではない
今がなければ先もない

12月14日(木)

人は一瞬の 目先の快楽を好む
そして その後の脱力感のみ記憶に残す
もっと 日々の当たり前前に感謝し
自分の足元を 大切にしてみませんか

12月15日(金)

For who, For what?
I live for myself every day.
Sometimes, my actions can benefit others.
So, my life is wonderful!

12月18日(月)

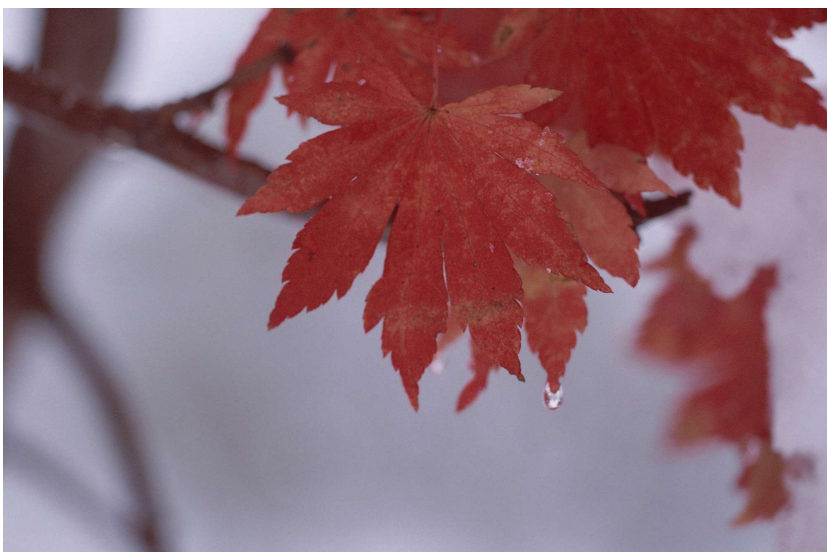
寒さに負けるな！ 自分に負けるな！
易きに流れるな！
瞬間に上手くいくことなど世の中にはほぼない
弱気は最大の敵だ！

12月19日(火)

一度の零は まず足し算から始めないと
駄目になる
少しでも積めば掛け算が継続できる
2年生終盤です 零は・・・なあ

12月20日(水)

人は全て満足の中で生きているわけではない
むしろ大半は不平・不安の中だ
ただ 一つの納得が
自分に大きな勇気をくれるのだ！



今月の 。。。。の 勧め

一月	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二年	「悩むこと」
四月	「本気でぶつかること」
四月 2	「この世界の片隅を大切に」
五月	「主体性」
六月	「客観性」
七月	「ルーティーン」
一学期末	「スマホとの向き合い方」
九月	「詩に触れる」
十月	「破壊する」
十一月	「想いを再生する」
十二月	「夢を目に触れるようにする」
2学期末	

74回生の姫路南高校生活も9学期分の5が終了しました。実際は、残りほぼ1年というところですが、皆さんはいま現在、自分の「本当の夢」を

単語

ではなく、

具体的な言葉（文章）

で語ることができませんか。

くになりたい

というのは言葉ではありません。単語です。どんな「くになりたい」。そしてその先に、「こんな自分の姿を想像することができかどうかです。

「なりたい自分」を語る時期は、もう過ぎました。

「見つからない」ではなく、「見たくない」と行動する自分を伏せている場面が多いことを、認められると良いですね。

今は、皆さんの側には

生き活きして見える羨ましいライバル

ともに悩める仲間

相談をすることが出来る空間

があります。

「見つからない」

「見えない」

「見たくない」

怪物をやっつける力を与えてくれると思います。そして、勇気を持って

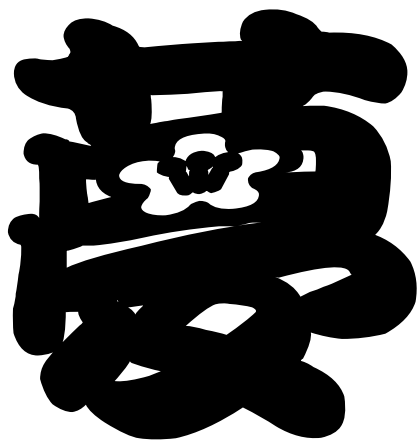
自分の目に見えるところ

自分の手に届くところ

に、その怪物を形にしてやろう。

どんな正義の味方でも、何度かは悪魔にやられるものです。

ただ、最後には（その時間が3分の正義の味方や、次週まで時間がかかる正義の味方と多種多様ですが）必ずやっつけることができる、できそうなものを、人間というのは



にするものです。

一年の締めくくりのタイミング。スマホの中ではなく、目に見える形として表してみたい。

今月の

修学旅行通信

多くの人は、修学旅行の準備を、それこそ「形」にする冬休みかもしれませんね。

ただ、これからはたくさんのお金が伴ってきます。「理性」と「工夫」を以て、修学旅行準備を、家族も含めて楽しんで下さい。

「身につけるもの」で人が変わるのではなく、「身につけている人」で「もの」の価値は変わるものです。芸能人に自分の姿を近づけたい心理と同じですね。

あなた方の内面の良さ、武器を大切にしたい「思い」の残る修学旅行になるように、持参物だけではなく、研修で訪問する場所、時間の許す限り、大切な仲間と訪れたい場所、そして何より、保護者に「安心」と「安全」を約束する行動、心意気を、しっかりと準備してもらいたいと思います。

改めて、74回生の皆さん、保護者の皆さん、

では

良いお年をお迎え下さい